

電子カルテ管理課

電子カルテ管理課課長 長山信夫

2024年の人事異動は下記の通りです。

入職：藤澤孝雄 2月16日、川村佐和9月1日、岡崎祐希10月1日。

退職：葛目悠輔12月15日。

電子カルテ管理課 長山信夫、浜田真次、松村稔、中村亮太、藤澤孝雄、川村佐和、岡崎祐希、山崎昌浩、山口素治。

主な活動

電子処方箋対応

2025年2月運用予定で電子処方箋導入費用とりまとめ、電子処方箋発行に必要となる医師のHPKIカード取得方法などをシステム検討委員会で検討しました。

電子処方箋に対応する事で、薬剤情報が電子処方箋管理サービスにアップロードされます。これにより、他院との重複投与などチェックができるようになります。但し、電子処方箋に対応していない調剤薬局があるので、運用面で病院側の負担にならない工夫が必要と考えています。

救急時医療情報閲覧対応

救急時において、意識障害等の同意取得困難な患者さんに対して、薬剤情報や手術情報等のレセプトに基づく医療情報を閲覧し、迅速かつ適切な検査・治療等に活用できるようになります。

当初は患者さんがマイナンバーカードを持参している場合に限られる為、実運用では利用シーンが限られると思われます。2025年2月稼働予定で準備中です。

近森会メールサーバ セキュリティ対策

脆弱性試験にて指摘があった通信設定について、メールサーバに対策を実施しました。対策後、各自のメールソフトに設定をお願いしています。メールソフトの設定手順書も作成、職員自身で設定出来るように見直しました。

乳腺外科 追加対応

4月から乳腺外科運用に備えて電子カルテシステムへ診療科追加設定しました。2月より記事入力、及び診療予約の登録を開始しています。

また、老朽化したマンモグラフィの更新、及び放射線オーダの見直しも実施しています。

近森病院 6B・6C病棟統合

夜間の看護師配置の見直しにより、6C病棟を6B病棟に統合する事となりました。電子カルテシステムでは病棟マスタの対応、及びベッドマップを6B病棟にまとめて表示する対応を行いました。統合に伴い6B西、6B東の院内呼称で区別を行う事となり、ナースコールシステムのベッドマップ対応も実施しました。

部門システム導入・更新

・ヤギー文書システム更新

9月23日ヤギー文書システムのバージョンアップを実施しました。

バージョンアップ後にレスポンスタイム悪化した点の改善要望中。

主な指摘事項

- ①転記画面のプレビューが遅い。
- ②複数ページに渡る文書の展開速度が低下。
- ③画像ファイルが初期設定されている文書について動作速度低下。
- ④新規文書作成時のプレビュー表示速度が遅い。

・感染制御システム導入

感染制御チームから要望により、SYSMEX La-vietal IS を仮想サーバ環境に構築しました。

・放射線情報システム (RIS)

2015年から運用していた RIS サーバにつきまして、物理サーバから仮想環境へ移行、端末の入替えを実施しました。

・ナースコールシステム

仮想環境 VM WARE から HYPER-V へ移行。

・勤怠管理システム (COMPANY)

仮想環境 VM WARE から HYPER-V へ移行。

防犯カメラ (ネットワークカメラ) 関連

・北館 1 F 窓口

北館 1 F 窓口 POS レジを設置するに当たって、防犯カメラを設置しました。

・屋外ヘリポートカメラ

2024年8月本館A棟竣工時から使用している360°可動式カメラの保守対応が難しくなってきた為、iPro製の2眼カメラ(固定)でヘリポート、吹き流しを見られる様に更新しました。

外国人実習生サクラ寮 インターネット環境整備

外国人実習生受け入れに当たって、サクラ寮へのインターネット環境整備依頼がありました。なるべく安定した環境を構築する為、業務用ルータと家庭用無線APの組み合わせとし、リブータを設置しています。

リブータ…ネットワーク機器など応答がない場合に電源OFF,ONする機器。

小川寮 3 F インターネット環境改善

各部屋にLAN配線すると高額になるため、共用エリアに無線アクセスポイント(AP)を設置していましたが、鉄筋コンクリート+金属製ドアで各部屋内では電波が弱い問題がありました。

各部屋にはTV用アンテナ線はある為、同軸モデムを設置して対応しました。

小川寮 4 F 外国人実習生用インターネット環境整備

4 F を外国人実習生用にインターネット環境整備依頼がありました。既に構築済みの 3 F 同軸線を 4 F へ配線して各部屋へ分配、同軸モデムで対応しました。

障害報告

重大な障害は下記の通りです。

1. 電子カルテシステム マスタ世代化後、画像指示票が発行されない。
2. 医事システムバージョンアップ後のレセプト発行時間低下
3. ヤギー文書システムバージョンアップ後のレスポンスタイム低下。
4. 透析システム プログラムリリース手順不備。
5. 検体検査システム 連続稼働によるメモリ枯渇。

総括

昨年に引き続き、部門システムのサーバ更新や保守の固定費を抑える手段として、仮想サーバ環境へ移行を行っています。仮想サーバ環境への移行はほぼ完了し、初期構築した仮想サーバ環境の更新（2 巡目）になっています。

Mega0akHR のサポートは 2 0 3 1 年 3 月で終了との案内がありました。次回更新時期は 2 0 2 6 年 1 0 月頃を予定しており、仮に Mega0akHR を継続した場合には 4 年半弱しか利用できない事となります。

2 0 2 6 年 1 0 月更新においては、2 0 3 1 年 3 月サポート終了と費用を考慮した更新方法を提案したいと考えています。